

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 3 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500091		
法人名	たちばな福祉会		
事業所名	たちばな苑グループホーム		
所在地	広島県呉市倉橋町14948番地		
自己評価作成日	平成29年2月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=true&PrefCd=34
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年3月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

たちばな苑グループホームは広島県の最南端（呉市倉橋町）にあり、温暖で景色の良い自然環境に恵まれたホームです。広い敷地内には特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等が併設され、行事・クラブ等を一緒に行うことで、多くの入所者同志の交流も図っています。天候の良い日は散歩に出かけ、山羊に餌をあたえたり、四季折々の草花を鑑賞したり、野菜を植え収穫し、料理するなどしています。また、地域の行事に参加し、交流をはかっています。健康管理は医師に相談し、早期発見・早期治療に努めております。職員は各担当部屋の整理整頓、話し掛け等を行い、御家族には毎月の近況報告を行い、一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。安全面では、二カ月に一回の防火訓練を行う等、日々、安心、安全を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

恵まれた自然環境を生かし、敷地内には、特別養護老人ホーム、デイサービスなどがあり、季節毎の行事、クラブ活動などを合同で行い、楽しみを増やす取り組みをされている。住環境は、明るく開放的で、暖かさを感じる快適な生活空間である。理事長が医師であり、医療との連携、リハビリテーションの充実、室温調整や掃除の徹底により、利用者の身体機能の維持を図り、健康管理に努めている。利用者と一緒に野菜づくりを行い、収穫した食材を美味しく頂いている。「利用者に満足して頂くために」利用者のケアについて、現状に満足することなく、職員間で話し合いを重ね“生き生きケア（利用者個々の月間目標）”に取り組むことにより、良質なケアの向上に努めている。理念でもある、家庭的で雰囲気のある楽しい生活を支援するケアが、管理者をはじめ職員にも浸透され、日々、実践されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	引き継ぎ時に理念を唱和し、理念に沿ったケアが出来るよう、心がけています。	毎年度、振り返りを行い、事業計画（①業務目標②処遇目標③意識目標）を策定して、理念と照らし合わせながら、日々、実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ドライブ、地域の祭り、盆踊り等に参加したり、地域の神社へ散歩したりして、交流を図っています。	法人で祭りを開催し、地域の方が多数訪れている。天候が良ければ買い物や散歩を通して、地域の人との交流にも心掛けている。地域の方々とは挨拶や、気軽に声を掛け合う関係ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	買物やドライブに出かけたり、施設見学を常時受け入れ、認知症の方々の理解を深めて頂けるよう、努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	取組み等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんで頂き、アドバイスを受け、質の向上に努めています。	参加を促しているが、家族の参加が代表者（1人）のみの実態から、事前アンケートを実施し、意見・要望を聴く努力をされている。内容は、事業所での取組み状況を報告し、年2回は家族会を行い、半年間の状況について、ビデオ鑑賞をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議にご案内、出席して頂き、アドバイスを受けています。又、介護認定の更新時には、呉市から調査に来られています。	事業所利用の空き状況の相談を受けることが多い。事業運営をする上で、判断に困ったことや疑問点があった時など、市の担当者に連絡を取り、必要に応じて、アドバイスを頂いている。市の小規模ネットワーク会議に参加し、情報交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	併設特別養護老人ホームの勉強会に参加し、身体拘束のないケアを心がけています。玄関の施錠は、必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で、身体拘束利用者の検討を行っています。	年間計画に基づき、研修を行っている。なお、職員体制や利用者の状況によっては、家族と相談しながら、やむを得ず身体拘束（介護服の着用）をする場合がある。今後、現状を把握する中で、少しでも拘束が軽減する取り組みについて、職員間で話し合いを実施している。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	外部研修、職員教育、併設の特別養護老人ホームの勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることが無いよう注意し、防止に努めています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修、併設特別養護老人ホームの勉強会に参加するようにしています。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し、理解・納得をして頂き、契約を結んでいます。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	御家族の面会時に意見を聞き、把握に努めています。意見箱を設置し、面会の際にご意見をお聞きしながら、解決に努めています。	年2回の家族会の実施や、毎月、担当職員から事業所での近況報告を送付している。家族対象にアンケートを実施し、意見などを聞く機会を設け、要望があればその都度、職員間で情報共有しながら対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回の職員会議、月一回の苑長とのミーティング、職員での毎月のミーティングを行っています。	勤続年数が長い職員の方が多く、働きやすい職場でもあり、意見を出しやすい雰囲気である。利用者のケアについての話し合いが多く、毎月の職員会議やミーティングなどで話し合いが行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務目標があり、達成にむけて主任が指導したり、職員同志でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外での研修、職員の力量に応じた研修の機会を確保し、法人全体で取り組んでいます。又、資格取得の促進にも取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修を通して、同業者との意見交換の機会を持ち、課題の見直しをして、ケアの質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	居宅との連携を密にして、事前訪問し、家庭環境を把握し、本人・家族とのコミュニケーションを大切にして、不安を取り除くようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当ケアマネージャーから情報を収集し、事前訪問、見学に来て頂き、本人の要望と話をよく聞き、対応しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>担当ケアマネージャー、サービス事業所と連携を持ち、対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみ、クラブ、散歩等を一緒に行い、本人の出来る事をしてもらい、張りのあるその人であった支援をしています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人、家族の話をよく聴き、面会時には利用者、家族、職員も入り話をよく聴き、お互いの理解を深めています。又、行事等には一緒に参加しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>併設特別養護老人ホームの行事、クラブへの参加、地域の行事、買物、ドライブ等に参加して、顔馴染みの人達と交流しています。又、生活環境が変わらないように、家庭で使っていた寝具など使用しています。</p>	<p>年賀状の送付や家族の協力を得て、外出、外泊をされる方がおられる。月2回のハッピーサロンの参加や、地域の行事に参加することで、馴染みの人との関係が継続されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の性格、行動を把握し、より良い関係作りに努めています。共同生活の場のリビングで食事・おやつ・誕生会、レクリエーション、体操等しながら、利用者様同志の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すよう、生活歴・対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ、利用者主体の暮らしを支援しています。	過去の生活歴を把握し、日頃の会話の中で、本人の思いや希望を聴きだすように努めている。利用者個々の希望（編み物、習字、絵など）が反映され、情報共有しながら、可能なことは実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族・居宅・サービス事業所と連携を取り、経過などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に、毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続できるように、話しかけています。又、体調変化の早期発見に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、職員、管理者などで話し合い、本人が望むことや残存機能の維持向上を図りながら、最良のケアができるように計画を立てています。</p>	<p>“身体機能の維持や、本人が生き生き、楽しみをみつけて頂くように”カンファレンスで、介護計画の実施状況やモニタリングを作成し、現状に即して、見直しなどを実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日誌、引継ぎノート、個別記録に記入し、ミーティングを行い検討し、計画を見直し、実践しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設施設のクラブ・行事に参加しています。生活リハビリ訓練、グループホームでの2ユニット合同での誕生会、おやつ作り、レクリエーション等で、利用者同志の交流を図り、楽しんで頂けるようにしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議を通じて、民生委員の協力を得たり、消防署の立会いのもと、二か月に一回、防火訓練を行っています。月二回、地域のスーパーで買い物を楽しんでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>早期発見・早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的を受け、適切な治療を行っています。</p>	<p>理事長が医師であり、併設施設の特別養護老人ホームの看護職員の体制により、適切な医療が受けられる体制である。個々の健康状況については、「個人カルテ」に記入し、引継ぎノートを活用しながら、情報共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医院の看護師や、緊急な場合にも医師、看護師が対応できるよう支援しています。本人、家族の希望を聞き、受診の支援を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時は、医療機関に情報を提供し、医療機関にお見舞いに行き、情報を提供してもらい、退院後のケアに備えています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族にとって最善な終末期ケアが出来る様、かかりつけ医と連携を図りながら、家族、職員と話し合い、対応について検討しています。</p>	<p>看取りの経験から、希望があれば看取りをする方針である。重度化やターミナルケアに向かう時期となれば、かかりつけ医や家族との話し合いを、その都度、重ねて対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応の勉強会をしています。必要に応じて職員を集めて、知識・技術の習得に努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>地域の消防署の指導のもと、併設施設と合同訓練を行っています。年一回の夜間訓練は、地域の消防団にも参加してもらい行っています。防潮堤の設置で、高潮等の災害にも備えています。</p>	<p>立地が海岸付近であり、風水害のマニュアルを作成している。2カ月に1回の防災訓練を実施し、防災意識を高める取り組みをしている。事業所として、備蓄（食料や物品など）を行い、年1回の夜間訓練は、地域の消防団の参加、協力をお願いしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時には、プライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。利用者の尊厳を守るため、生活歴を把握し、特に言葉遣いに配慮し、対応しています。	入室時には、必ずノックをして入るようにしている。常に、第三者が見てもおかしくない対応を心掛けている。職員は利用者に対して、指示、命令することなく、言葉遣いは十分気をつけた対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもち、利用者の言葉を傾聴し、思いをしっかりとくみ取っている。わかりやすく、工夫した話しかけを行い、自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の性格、行動等を把握し、より良い関係作りに努めています。したい事を、体調に合わせて、個々のペースで出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	併設施設に訪問する美容院に行かれます。日々の身だしなみは、出来るだけご本人の希望に沿った服を選んで、着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年二回の嗜好調査で好みを把握し、献立に生かしています。食事の準備片づけ等、出来る人には手伝って頂いています。	3食の副食（おかず）は、併設の特別養護老人ホームの厨房より食材が届いている。年2回の嗜好調査の実施や、季節毎の行事食の提供により、食事を楽しめる工夫をしている。利用者と一緒に野菜づくり（ジャガイモ、キュウリ、トマトなど）を行い、収穫した食材を美味しく頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調を崩された時や食欲不振の時には，好物な物を提供しています。主食を粥にしたり，副食を刻みなどにしています。定時以外の水分補給の話し掛けや，水分摂取量の少ない方には，随時いろいろな飲み物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，歯磨き・うがいを個別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり，一人ひとりの排泄状況を把握し，トイレへの話し掛け誘導を行いながら，自立に向けて支援しています。</p>	<p>トイレは4カ所あり，その内2カ所は，車いす利用の方にも十分のスペースが確保されている。トイレに座ることを基本とし，個人のペースで声掛け誘導を行っている。事故防止に，居室内に，センサーマットを活用し，安全確認をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の食事，水分摂取量に注意しながら，散歩や体操の時に話かけをし，運動不足解消に努めています。医師の指示により，服薬も行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の状況に応じて，リフト浴・シャワー浴をするなどしています。入浴日はありますが，利用者様のペースに合わせて，個別に対応しています。</p>	<p>週2回，午後からの入浴で対応している。一人ひとりの状態を把握し，適切な入浴機器（リフト浴，シャワー浴など）の選定により，体調に合わせた入浴支援をしている。適宜，季節に応じて，ゆず湯，しょうぶ湯をしている。今後，畑でハーブを育て，入浴時に活用したいと準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの個室を用意し、自宅から馴染みの布団・寝具等を持ち込んで頂き、自宅に近い環境で寝て頂けるよう、自由にご自分のペースで過ごして頂いています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師の指示・説明を、引き継ぎノートに記入して、確認しています。症状の変化等については、医師、看護師と連携を取っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者様の生活歴に応じて、習字・お茶・絵体操等のクラブに参加する機会をつくり、洗濯物たたみ、散歩、園芸、おやつ作り、動物とのふれあい等、好みに応じて行っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候の良い日には散歩を行い、季節の草花等に触れたり、ドライブを兼ねた月二回の買い物等に参加してもらったり、家族と一緒に外出して頂けるように働きかけています。</p>	<p>事業所の周辺が平坦であり、散歩には適した環境である。天候やその日の体調に配慮し、散歩や買い物などしている。家族の協力を頂き、外出・外泊をされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>月二回の買い物の時に、ご自分で支払って頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>公衆電話を設置し、何時でも電話が出来るようにしています。家族との連絡ノートを作り、連絡を密にしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地良い、落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう、自然環境が取り入れられ玄関には、季節の花等を植えたり、季節感を味わえるよう工夫しています。リビングは日当たりがよく清潔で明るい空間になっています。</p>	<p>開放的な空間により、とても落ち着ける住環境である。室温調整や利用者と一緒に掃除を行い、利用者の健康管理に努めている。利用者個々の居場所があり、一人ひとりが心休まり、安心して生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂は何時でも気軽に過ごせる、自由空間になっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時には本人の使い慣れた物、大事にしている物等を持ってきて頂いて、居心地よく過ごせるようになっています。</p>	<p>居室内はベッド・床頭台・空調などは事業所の備品として準備されている。最低限必要な物品は必要物品表を手渡し、準備をお願いしている。年2回の家族会時には、衣類の点検を家族にお願いしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており、手摺も設置し、トイレも随所に設置し、トイレ表示もわかりやすく、話しかけて自立を促し、安全に利用できるようになっています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 たちばな苑グループホーム

作成日 平成29年4月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加人数が少なく意見があまり聴けない	参加人数を増やす	地域の方に声掛けをし参加をお願いする。	随時
2	12	終末期に向けた支援	ご家族に看取りの説明をし承諾書で確認する	ご家族の希望に添う。支援を行う	その都度
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。